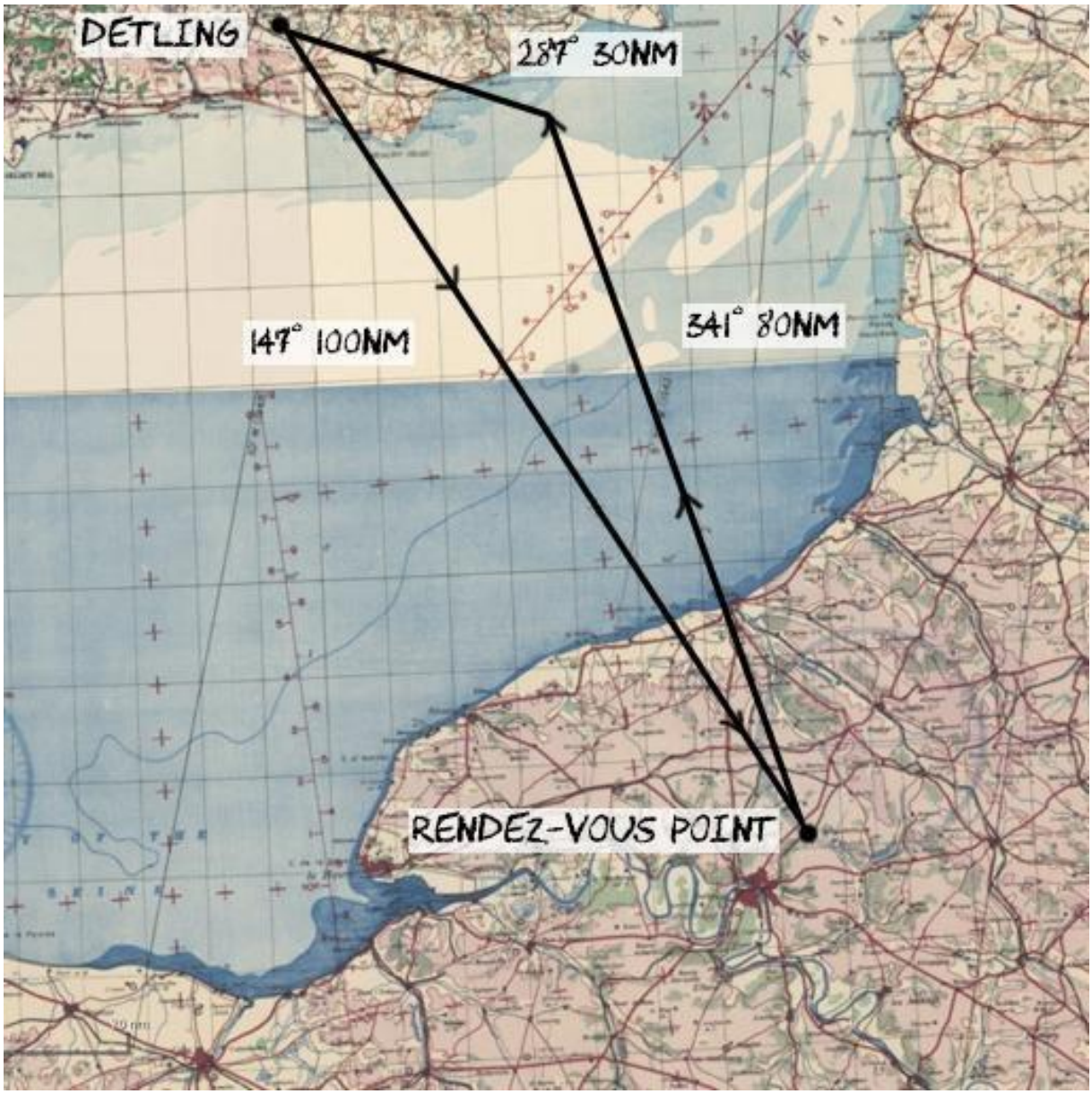
ブリーフィング

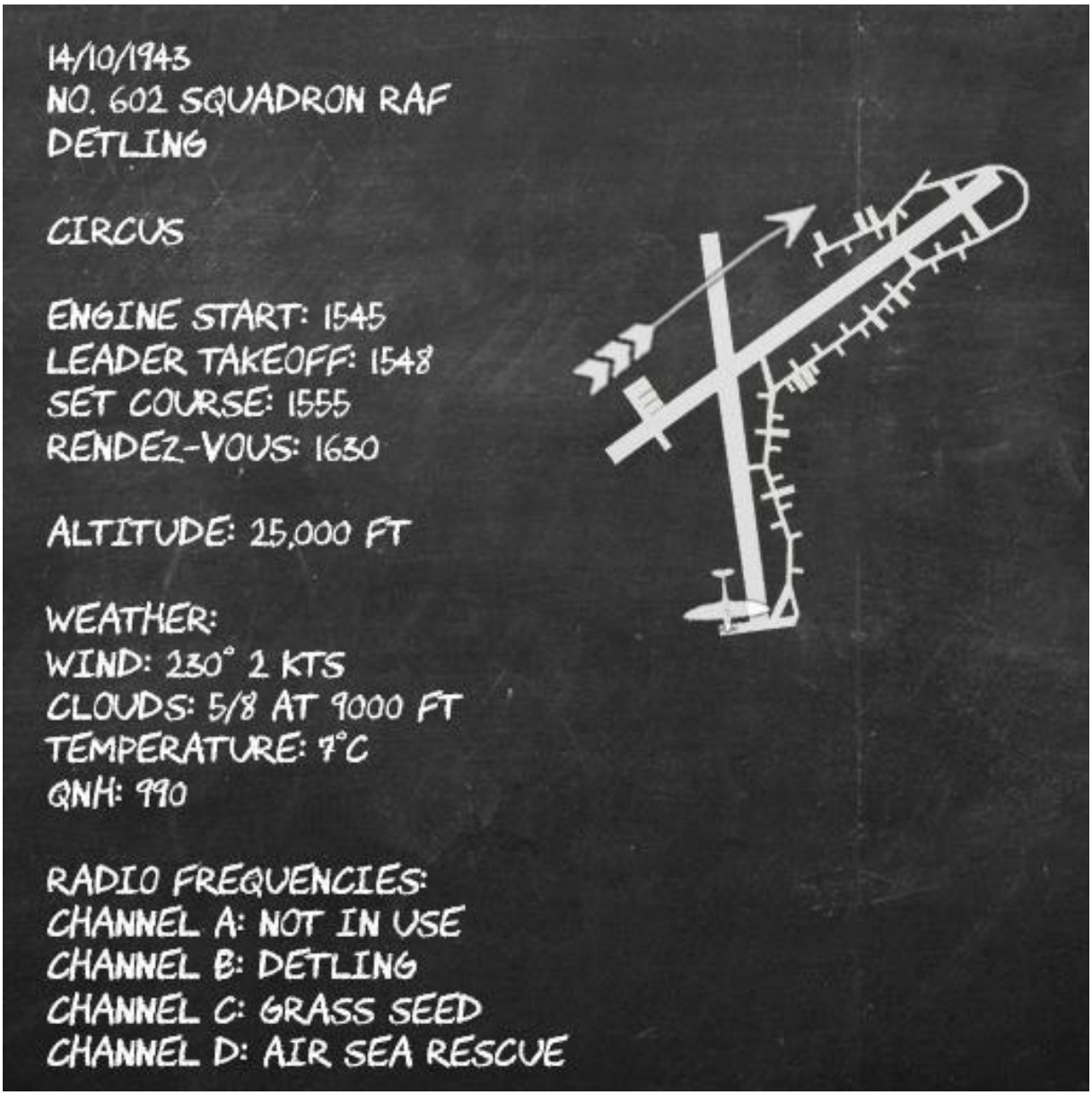
Hello chaps!

今日の任務は重要だ。ヤンキーはシュヴァインフルトのボールベアリング工場に対する大規模な攻撃を決定した。我々の任務は、彼らの最後の航程を護衛することだ。往路復路ともに激しい交戦が予想される。第 132 飛行中隊は 1542 時に離陸、コールサインはボブ、続いて 1545 時に第 602 飛行中隊が離陸、コールサインはマックスだ。ピエールはマックス・レッド・リーダーとして隊を率いろ。ボブはマックスの後上方に位置する。隊は 1555 時にフランスに向けて進撃、1630 時にルーアン上空で爆撃機と合流せよ。任務中はグラスシードのチャンネル C にセットせよ。いつものように無線封止を厳命する。海岸に戻れない場合は、チャンネル D で"メイデイ"をコールした後脱出せよ。可能な限り速やかに救助する。ポケットの中空っぽにしろ。良い狩りを!



作戦詳細

このミッションは、「シュワインフルト爆撃行（Ball-bearings and Flying Fortresses）」を再現したものですが、原作と若干違いがあります。オランダの海岸が地図にないため、デトリングの代わりにチェイリー、合流地点をルーアンに移しました。クロステルマンは 1204 時に離陸したと記述していますが、これは他の資料と矛盾しています。第 100 爆撃隊の戦闘詳報では、1454 時に爆弾を投下、1725 時にイギリスの海岸に到達したと書かれています。あなたはピエール・クロステルマンとしてマックス・レッド・リーダーのポジションで飛行します。エンジン始動後、チャンネル B で管制塔に連絡し、滑走路 35 に移動します。まずレッド編隊が、続いてブルー、イエロー編隊が離陸します。第 132 飛行中隊はすでに離陸しており、ブリーフィングに従ってあなたの上方で編隊を組みます。離陸後、チャンネル C に切り替え、飛行場の上空を旋回し、編隊が整うまで待ちます。1505 時に合流地点に向けて進撃します。ルーアン上空 25,000 フィートで爆撃機と合流後、帰路を援護します。F10 無線メニューで第 602 飛行中隊に指示を出すことができます。もしあなたの PC のスペックが不足しているなら、同じ F10 無線メニューで、AI ユニットを減らすこともできます。このオプションは 5 分後に解除されます。



背　景

ドイツのボールベアリングは大半がシュヴァインフルトとその周辺の工場で生産されていました。クーゲルフィッシャー社の工場が 22%、Vereinigte Kugellagerfabriken 第1工場と第2工場が20%、さらに Fichtel & Sachs 社の工場が 1%を占めていました。

1942 年、連合軍はドイツのボールベアリングがドイツ工業のボトルネックであると考え、1943 年3月からの連合軍爆撃攻勢「ポイントブランク」ではボールベアリング工場が2番目に重要な爆撃目標とされました。8 月からのシュヴァインフルト-レーゲンスブルク爆撃でもシュヴァインフルトのボールベアリング工場が第2目標とされました。

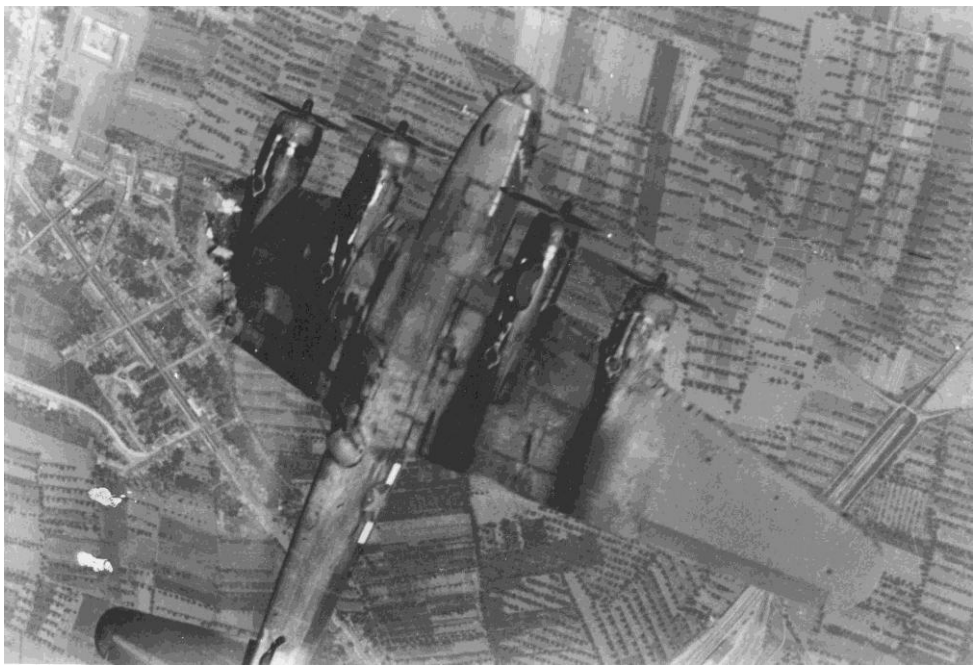
3 つの爆撃機群はそれぞれ、複数の P-47 飛行隊によって護衛されることになっていましたが、不可解なことに戦闘機はドロップ・タンクを装備しなかったため、護衛範囲が限られていました。ある戦闘機部隊は、悪天候のためにエムデンへの迂回した 29 機の B-24 爆撃機護衛に向かいました。291 機の B-17 のうち 229 機が2群にわかれ、第 1 群は 1439～1445 時に、第 2 群は 1451～1457 時にシュヴァインフルト市街地とボールベアリング工場を爆撃しました。しかしドイツ空軍機 186 機に邀撃され 60 機の B-17 が失われ、2 機が修復不可能な損傷を受け、13 機が損傷しました。犠牲者は戦死 5 名、負傷 40 名、行方不明 594 名でした。

さらに悪天候のために爆撃機の編隊が分散して脆弱になっていたことも被害を拡大させました。ドイツ空軍の情報将校たちは、これまでの空襲の実績から、深層侵入型空襲の効果を疑っていました。

ドイツ空軍第 3 戦闘機隊ウーデットは海岸を横切る爆撃機を迎撃しましたが、P-47 が Bf 109 を 7 機撃墜した一方、失った P-47 は 1 機だけでした。しかし、1 機の P-47 はヘロンゲートで墜落し、もう 1 機は基地で片輪着陸により失われました。オランダでは JG 1 エーザウと JG 26 シュラゲーター、2 つの"名のある"ドイツ空軍戦闘機隊が攻撃を繰り返しました。第 305 爆撃隊は 16 機の B-17 のうち 13 機を数分で失いました。B-17 は爆撃後、燃料・弾薬を補給した戦闘機に攻撃されました（JG 11 は 18 機の B-17 を撃墜）。

(Wiki)

合計 13 機の爆撃機がドイツ軍の戦闘機や対空砲に撃墜され、12 機の爆撃機がひどい損傷を受けて帰還時に墜落したり、スクラップになりました。さらに 121 機の爆撃機が中程度の損傷で帰還しました。2,900 人の乗組員のうち、約 254 人が帰還せず（65 人は捕虜として生き残った。）、帰還した損傷機には 5 人の戦死者と 43 人の負傷者が乗っていました（594 人が行方不明）。最も大きな被害を受けたのは、第 306 爆撃隊です。第 306 爆撃隊は 100 名を失い、35 名が作戦中または負傷により死亡、65 名が捕虜となりました。第 305 爆撃隊は 130 名（87%）を失い、36 名が死亡しました。この「黒い木曜日」の空襲における JG 1 と JG 11 迎撃では、Br21 無誘導スタンドオフ・ロケット弾を米空軍のコンバット・ボックスに対して使用したと言われています。



地面に激突するのを待つだけの B-17 の中には 10 人の男たちが閉じ込められている。